

ガイアエクステンジ

仮想通貨も可能な自動両替機 外貨も12種類換金が可能



自動外貨両替機の販売・運用などを行っているガイアエクステンジ(大阪市西区)は、複数の主要な仮想通貨をその場で日本円に両替できる仮想通貨自動両替機「ガイアエクステンジ仮想通貨自動両替機GEX-3C」を3月10日より販売する。

同商品は、Bitcoin(BTC)、Ethereum(ETH)、Ripple(XRP)など主要な銘柄を含む全8種類の仮想

通貨の両替機能に対応しているのが特徴。利用者はスマートフォンでQRコードを読み取り、希望する円貨額を入力、当日円レートで自動換算された仮想通貨の送金手続きをするだけで、両替機から手数料を差し引いた円貨が払い出される仕組み。

対応することも可能だ。米ドル、ユーロ、中国元、韓国ウォン、台湾ドル、香港ドル、英ポンド、シンガポールドル、豪ドル、タイバーツ、マレーシアリング、インドネシアルピアといった全12種類の外貨を手軽に日本円へ換金できるため、今後増加が見込まれる訪日外国人の両替ニーズにも対応する。

機械は、年中無休で取引所が可能な。現在、仮想通貨のオンライン取引所で仮想通貨から日本円へ両替する場合は、銀行の営業時間内にしか出金ができないが、同機の利用により、その場で換金ができるようになる。もちろん、画面表示切り替えをするだけで外貨両替にも

対応する。仮想通貨に特化したグローバル情報メディア「コインテレグラフ」の調査によると、仮想通貨全体の時価総額は2000億ドル(約22.8兆円)を超え、今や米国大手の金融グループ企業の時価総額と合計に相当する市場規模にまで拡大している。

といわれている。一方で、オンライン取引所では、「取引量が増えすぎて約束のタイムミングで自己資金にアクセスできない」「銀行の運営時間しか出金できないから不便」などと、両替ニーズへの対応に苦情が急増しているという。また、中国では昨年10月31日をもって国内での仮想通貨取引業務が禁止。これを受け、仮想通貨を保有する中国の投資家たちは人民元へ両替できる場所を探しはじめたほか、中国の大手仮想通貨取引所なども日本など近隣国へ活路を見出そうと動いているといわれている。